

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、消化器・一般外科では、福島県立医科大学会津医療センター消化器外科学講座が実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 一時的人工肛門造設例の合併症と閉鎖に関する多施設後ろ向き調査

[研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：福島県立医科大学会津医療センター消化器外科学講座 教授 遠藤 俊吾
電話：0242-75-2100

本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学消化器・一般外科 准教授 小川真平
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

2023年1月～2024年12月までの間に、当院消化器・一般外科において直腸癌に対する肛門温存手術症例で一時的ストーマが造設術を受けられた方

[利用・提供している診療情報等の項目]

- 診療情報等：術式（低位前方切除、ISR）、ストーマ創の切開（円状、線状切開）、ストーマ早期合併症...

[利用・提供の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

一時的人工肛門造設例の合併症と閉鎖の状況についての解明

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 高橋賢一（東北労災病院 大腸肛門外科 部長）
2. 吉松和彦（川崎医科大学 消化器外科講座 教授）
3. 山田陽子（産業医科大学病院 看護部）

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より 2027 年 3 月までの間（予定）

提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

研究代表機関倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における責任者、および、問い合わせ担当者]

責任者：東京女子医科大学 消化器・一般外科 教授 山口茂樹

問い合わせ担当者：東京女子医科大学 消化器・一般外科 小川真平

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

[東京女子医科大学における機関長]

理事長 清水 治